

第32回 J J B F 埼玉県中学生野球選手権大会 要項

2019.05.08 版

1 目的

- 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社 武蔵ヒートベアーズ

4 期日

	1 st ステージ	2 nd ステージ	3 rd ステージ	F I N A L
POWEWR-L	3チームによるリーグ戦 ※1：シード枠あり	各ブロック1位の 3チームリーグ戦	3チームリーグ戦	2チーム
	5/25～6/29	6/29、6/30、7/6 7/7	7/13、7/14、7/15	7/20
HOPEFUL-L	3チームによるリーグ戦 ※2：1部2チーム対戦	1位～3位の3チー ムリーグ戦	プールABC、DEFの1位 3チームのリーグ戦	2チーム
	5/25～6/23	6/29、6/30、7/6 7/7	7/13、7/14、7/15	7/20

※P LのA1（秋優勝チーム在）、D1（秋3位チーム2つ在）の両ブロックは実力を考慮して、それぞれリーグの2位、3位も2ndステージに進出する。

※2：H Lの参加18チームで3チームリーグ戦を組む予定だったが、どうしても組みきれないため、プールEは、2校の対戦とする。（H Lは全チーム2ndステージ進出）

※F I N A L＝7月20日（土） 於・川越初雁球場（※予備日 7月25日（木）：ファイナル進出チームの都合により変更あり）

5 リーグについて（表彰および上部大会について）

今大会は、「POWER-LEAGUE」と「HOPEFUL-LEAGUE」のどちらか一方を選択し、参戦。同時進行で大会を行います。

- (1) 「POWER-LEAGUE」：従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。優勝および準優勝チームは、全国大会への出場権を得ます。

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状 **3位** 3位楯 賞状

◆「POWER-LEAGUE」の優勝チームおよび上位入賞チームは以下の大会などに推薦します。

- (1) 優勝、準優勝チーム⇒全国中学生野球 岩手大会（8月9日（金）～12日（月））
- (2) 3位チームは、神奈川県笹尾杯（8月12日（月）、13日（火）開催）の出場権獲得を目指して、「HOPEFUL-LEAGUE」優勝チームとリーグ戦を行います。（2チームが笹尾杯出場。）

- (2) 「HOPEFUL-LEAGUE」：野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく（2、3年生が15名以内）」「中学校から野球を始めた選手が多い」など発展途上のチームによる大会。

※表彰および上部大会

優勝 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状 **3位** 賞状

◆「HOPEFUL-LEAGUE」の優勝チームは神奈川県笹尾杯（8月12日（月）、13日（火）開催）の出場権獲得を目指して、「POWER-LEAGUE」の3位チームとリーグ戦を行います。（2チームが笹尾杯出場。）

※また今大会の出場選手の中から、優秀選手を選抜し、令和元年度（2019年度）の埼玉選抜の選手選考の参考とします。

- 6 使用球およびバット ①M号球
②試合に際して、**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
③バット：JSBBの認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。

- 7 参加資格 県内中学校在籍または在住の中学生によって構成されたチーム
また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

(1) 1st STAGE 3チームリーグ戦（A、B、Cの3チームによる）

- 第1試合 A 対 B （審判Cチームから4名）
第2試合 C 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）
第3試合 C 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人（顧問、コーチ、保護者）を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。

※審判費として、1会場3000円まで支払います。（3名×1000円）少額で申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

(2) 2nd STAGE （3チームのリーグ戦 ①、②、③の3チームによる）

- 第1試合 ① 対 ② （審判③チームから4名）
第2試合 ③ 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）
第3試合 ③ 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

(3) 3rd STAGE トーナメント（①、②、③、④の4チームによる）

- 第1試合 準々決勝① ① 対 ②
（審判2nd STAGEで ①、②に敗退した4チームから4名）

- 第2試合 準々決勝② ③ 対 ④
（審判2nd STAGEで ③、④に敗退した4チームから4名）

- 第3試合 準決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
（審判 第1試合**負け**、第2試合**負け**から2名ずつ）

(4) FINAL 決勝戦 ※審判は連盟から

- 9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡しください。

- (1) 参加費 1チーム 4,000円
(2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数
※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

- ① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。
② 100分を超えて新しいイニングには入らない。
③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は**引き分け**とする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク（**継続打順による一死満塁**スタートの特別延長戦）を行う。これを**2回**繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。
④ 投手の投球イニングは、**1日につき7イニングまで**とする。（タイブレークの場合は含まない）※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。

例

A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、A投手は、同日の試合では、あと1イニング(3アウト)登板することが可能である。(またB投手は、同日の試合では、あと6イニング(18アウト)登板することが可能である。)

※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げるができる。

④-特別：3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について(条件の平等化について)

7月○日(土) A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bの群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げた。

雨天のため、翌日に順延

7月△日(日) A 対 C Aは埼玉投手は投げられない。(ただし(リーグ戦はないが)タイブレークになった場合は投げられる。)
Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。

↓ **この場合?**

B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げるができる。

Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニングまで残り投げるができる。

⑤コールドゲームは5回以降7点差とする。

⑥ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には、別途指定する。

⑦打者、走者、コーチャーはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。

⑧最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。(本大会において同一選手が複数のチームでの複数回の出場は認めない。ただし、女子選手の場合、出場機会の確保という観点から自チームおよび女子選抜チームでの登録・出場を特別に許可する。)

⑨背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

⑩リーグ戦に関する規則(A, B, Cの3チームでのリーグ戦の場合)

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 第1試合の「敗者」とし、第3試合を「C」対 第1試合の「勝者」とする。

※ただし会場の都合で、当日参加チームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b 会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点(勝利チーム勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。)の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー(振り逃げを含む)などで、

1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数=5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

1 1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。(ただし1チーム20名を超えて試合に出場することはできない。)

1 2 その他、お願い等

- ・この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。
- ・雨天以外（急な学校行事など）での日程の変更は行わない。都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、所定の様式に記入しメールにて連絡すること。それ以外での変更は配慮しない。（子どもたちが主役であるので、できるだけの努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。）
また組み合わせが決まった後の不参加は認めない。
- ・何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 事務局 原口 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp